

平成29年度 第2回西蒲警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年9月28日（木）午後1時00分から午後5時00分まで		
開催場所	西蒲警察署講堂、交通機動隊(視察)		
出席者	委員 (定数8人)	丸山会長、高井副会長、石添委員、中原委員、 廣川委員、山上委員 (会長・副会長以下50音順)	計6人
	警察	澁谷署長、渋谷副署長、原警務課長、 清野生活安全課長、伊藤地域課長、 村山刑事課長、佐藤交通課長、警備課長	計8人

管内の治安情勢

署長から、平成29年8月末現在の管内の治安情勢について、資料に基づき説明があった。

前回の答申事項に対する業務推進状況

各担当課長から、前回答申した重点推進項目の取組状況について説明があった。

1 高齢者を中心とした交通事故防止対策の推進

(1) 自治体等と協働し、老人クラブの会合や各種イベント等を通じた交通安全広報の推進

ア 老人クラブ等における交通安全教室の開催

西蒲区役所と協働の上、各種老人会等の会合において、交通安全講話や高齢者の靴等に対する夜光反射材の直接貼付を実施した。

イ 西蒲地区社会福祉協議会と連携した交通事故防止広報の実施

宅配弁当事業における契約者への配食時に、高齢者事故防止のちらしを添付して広報を実施した。

ウ 地域包括支援センターと連携した交通事故防止広報の実施

高齢者が参加する会合や家庭訪問時に事故防止ちらしの配布を依頼した。

エ 地域イベントにおける交通安全広報及び防犯指導の実施

駅南振興祭に参加し、祭り参加者に対して交通安全広報及び防犯広報のちらし、夜光反射材等の配布を実施した。

オ 防災無線等を通じた広報の実施

西蒲区役所、弥彦村役場に依頼し、毎月10日の交通安全家庭の日や夏の交通事故防止運動、交通死亡事故多発警報発令に伴う緊急対策中における広報を实

施したほか、民間ラジオ局であるエフエム角田山コミュニティ放送（株）にも呼び掛けを依頼した。

(2) 交通事故抑止のための事故防止広報の推進

ア 自治体、西蒲地区交通安全協会等と協働した交通安全指導の実施

夏の交通事故防止運動の一環として交通指導所を開設し、交通事故防止の呼び掛けを実施した。

イ J A越後中央と協働した農耕車両に対する交通事故防止広報の実施

農繁期における農耕車両の交通事故防止を図るため、事故防止広報ちらしの配布を行い広報を実施した。

2 車上ねらい等窃盗被害防止対策の推進

(1) 鍵掛け広報の推進

防犯講話や学校における不審者対応訓練、祭礼における少年補導活動等あらゆる警察活動を通じて、鍵掛け広報を実施した。

(2) 警戒、検挙活動の強化

警戒、検挙活動を強化しているが、本年8月末現在車上ねらい被害が28件発生しており、前年よりも10件多いことから、被害の多い夜間を重点に警ら活動時における職務質問活動を強化した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 交通死亡事故抑止対策の推進

(1) 高齢者の交通事故防止対策

これまで実施してきた交通安全教育等については、一定の効果が認められていることから、今後も自治体等と協働し、老人クラブの会合や各種イベント等を通じて、継続した交通事故防止広報を推進する。

(2) 夜光反射材着用の推進

夜間の事故防止に効果のある夜光反射材の着用を継続して推進する。

(3) 交通死亡事故を防止するための交通指導取締りの強化

交通事故の発生実態を分析の上、交通事故に直結する悪質な交通違反やシートベルトの確実な着用を徹底するため、非着用の危険性を伝えるほか、取締りを強化する。

2 高齢者を中心とした特殊詐欺被害防止対策の推進

(1) 現状

当署では、8月末現在3件306万円の被害となっている。発生は、前年同期と同数で、被害額は前年同期比421万円減である。

種別は、架空請求詐欺が2件、融資保証金詐欺が1件である。

(2) 対策

ア 注意喚起、広報啓発活動の継続実施

イ 金融機関やコンビニエンスストアと連携した水際対策の推進

ウ 金融機関に対する特殊詐欺の手口の情報提供と声掛け強化による特殊詐欺被害防止対策への協力要請

エ 捜査の過程で押収した名簿を活用した被害予防対策の推進

諮問に対する意見・質疑等（〇は署長等の説明）

- 1 地区で実施される運動会において、参加者を対象に高齢者の交通事故に関する〇×クイズを実施したいと考えている。平成28年中の全死亡事故に占める高齢者死者数の割合は、県内においては、約58パーセント、西蒲署管内においては、約83パーセントと聞いているが、地区の高齢者に聞いてみたところ、「高齢者の事故より若者の事故の方が多い。」という回答が多く、正解を伝えたところ「まさか、そんなに多いとは思わなかった。」と、実態をよく認識していない高齢者が多かった。私もいろいろな会合で交通事故防止の広報を行っているが、高齢者に対しては、分かりやすく理解しやすいよう、具体的な数字などを伝えることも必要であると感じた。
 - 警察でも高齢者が参加する各種会合等において、高齢者事故の発生状況や原因などについて、具体的な数字等をあげるなど、分かりやすい指導を行うよう努めておりますし、巡回連絡などを通じて、会合に出席されていない高齢者に対しても高齢者事故の実態を正しく伝えて、交通事故に遭わないよう、交通事故を起こさないよう注意喚起を行っています。
- 2 飲食店の前で代行の車がエンジンを掛けたまま止まっておりうるさいので、代行会社と話す機会があれば指導してほしいが、警察で指導できるのか。
 - 代行業者につきましては、公安委員会の許可となりますので、交通課で行う立入り調査や巡回連絡を通じた指導を行っています。また、うるさい時は110番通報していただければと思います。
- 3 先日、銀行に定期預金を下ろしに行ったところ、高齢のせいか行員から声を掛けられたが、年齢によって声を掛けるのか。
 - 年齢ではなく、金額により声を掛けていただくよう金融機関にお願いしています。架空請求詐欺や融資保証金詐欺などでは、30～40歳代の方でも40～50万円という現金を下ろす方もおり、そのような方にも声を掛けています。
- 4 7月以降、町内で火災やボヤ、建築会社のフォークリフトが盗まれるなど物騒である。フォークリフトはプロの仕業だと思うが、県内や管内ではこのような盗難は多いのか。
 - フォークリフトにつきましては、建築会社の勘違いと判明し、事件ではありませんでしたので御安心ください。県内外では自動車の盗難やナンバープレートを盗んで別の犯罪に使用する事例もありますが、管内では車上ねらいは発生しているものの、車両の盗難被害等は、現在のところ発生していません。
- 5 間瀬サーキットにおける旧車會イベントの警備状況について伺う。
 - エントリー台数も昨年と比較して減少しており、行き帰りの事故や違反もなく平穩に警備を終了しています。
- 6 最近、暴走族の姿を見ることが少なくなったが、警察としても取締りを強化しているのか。

- 単発的な爆音暴走行為は認められますので、関係法令を適用して厳しい取締りを実施しています。

答申

西蒲警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり各種施策を積極的に推進するよう答申した。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

交通機動隊の視察

協議会終了後、交通機動隊を視察した。委員からは「白バイ隊員の運転技術のすごさに感動した。」旨の感想があった。

